

第13期セゾン投信 運用報告会

～プログラム～

第13期運用報告

(セゾン投信 運用部長 瀬下哲雄)

投資家から見たセゾンファンド

(FCP代表/セゾン投信エグゼクティブアドバイザー 房前督明)

セゾン投信の共創価値とこれからのライフデザイン

(セゾン投信 社長 中野晴啓)

皆さまからの疑問、質問にお答えするQ&Aコーナー

目次

「第13期運用報告/運用部」補足説明資料・・・・・・・・・・・・・3

「投資家から見たセゾンファンド/房前督明」補足説明資料・・・・・・・・・・21

【付 録】

運用報告会でよく使われる用語集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

長期投資シミュレーション ～セゾン号の道しるべ～・・・・・・・・・・・・・31

お客さまの特徴&都道府県別マップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

セゾン投信がお届けする動画&ラジオ風番組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

セゾン投信の運用損益別顧客比率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

口座開設年別損益状況分布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

【本資料で用いている略称】

S V G B：セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

達人：セゾン資産形成の達人ファンド

第13期運用報告

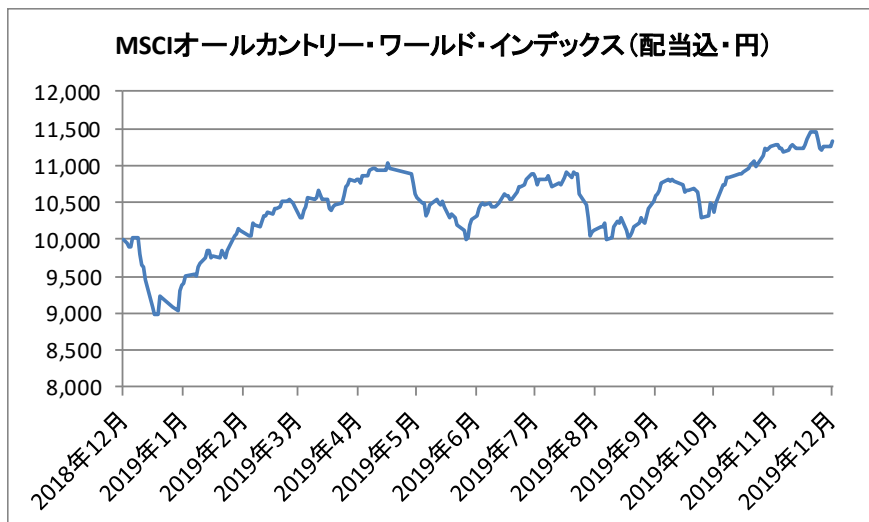
セゾン投信株式会社 運用部

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

株式市場の概況①

▶ 期中の株価指数(配当込)の動き*

- ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス【円】: +13.4%
- ▶ 2018年12月に大きく下落したものの、その後は上昇基調。



* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、指数は2営業日前のものに当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しています。(2018年12月10日=10,000)

株式市場の概況②（地域）

- ▶ 全ての地域で上昇。
 - ▶ 特に欧州、北米が大きく上昇。
- ▶ 地域別株価指数(配当無)の騰落率(2018/12/6→2019/12/6)*
 - ▶ MSCI先進国指数【ドル】:+15.3%
 - ▶ MSCI北米指数【ドル】:+16.7%
 - ▶ MSCI欧州指数【ユーロ】:+17.7%(ドル建て:+14.3%)
 - ▶ MSCI日本指数【円】:+7.4%(ドル建て:+11.3%)
 - ▶ MSCI太平洋指数(日本を除く)【ドル】:+8.6%
 - ▶ MSCI新興国市場指数【ドル】:+7.2%

* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

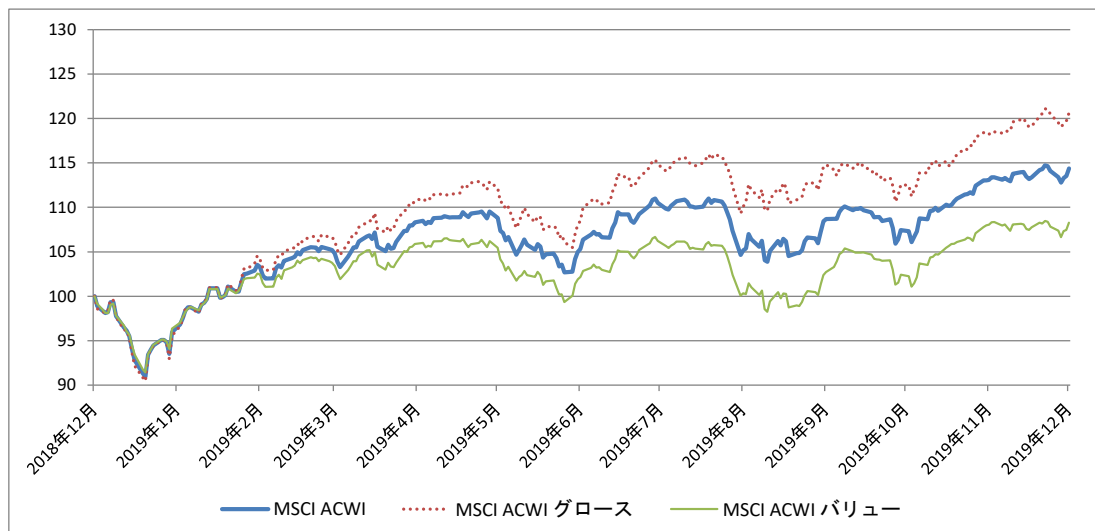
株式市場の概況③（セクター）

- ▶ エネルギーを除いて上昇。
 - ▶ 特に情報技術が大きく上昇。
- ▶ 主な業種別株価指数(配当無)の騰落率(2018/12/6→2019/12/6)*
 - ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス【ドル】:+14.4%
 - ▶ 情報技術:+30.2%
 - ▶ エネルギー:-2.9%

* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

株式市場の概況④ (スタイル)

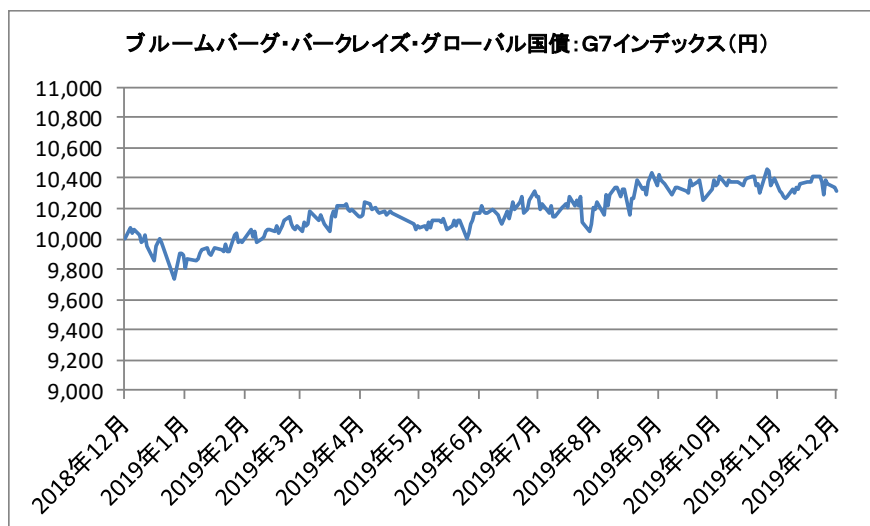
- ▶ スタイル別指数の動き【ドル】(配当無)(2018/12/6→2019/12/6)*
 - ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・グロース・インデックス:+20.6%
 - ▶ MSCIオールカントリー・ワールド・バリュー・インデックス:+8.3%



* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。
(2018年12月6日=100)

債券市場の概況①

- ▶ 期中の債券指数の動き*
 - ▶ ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債:
G7インデックス【円】:+3.2%



* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、指数は2営業日前のものに当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しています。(2018年12月10日=10,000)

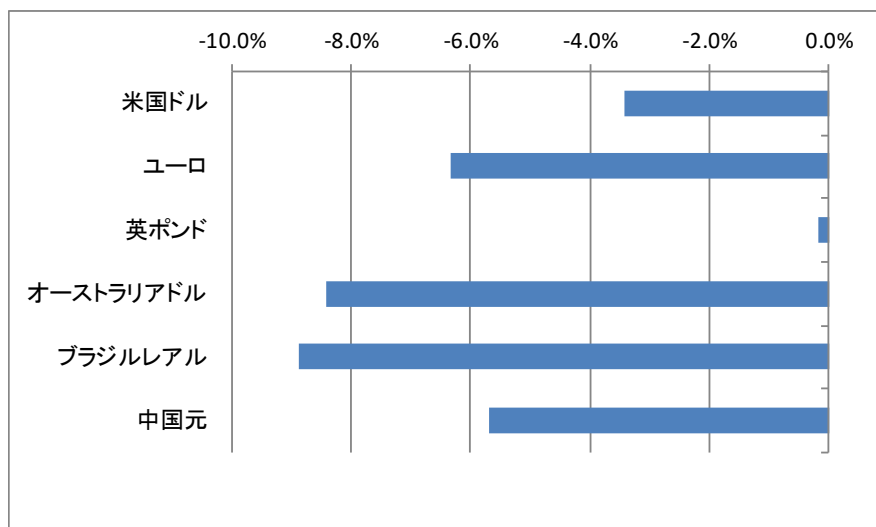
債券市場の概況②

- ▶ 米連邦準備制度理事会 (FRB) や欧州中央銀行 (ECB) が金融引き締め姿勢から緩和姿勢に転換し、金利が低下。
- ▶ 各国の金利の変化 (2018/12/6→2019/12/6)*
 - ▶ 米国10年: 2.90%⇒1.84% (-1.06%)
 - ▶ ドイツ10年: 0.24%⇒-0.29% (-0.52%)
 - ▶ イタリア10年: 3.20%⇒1.35% (-1.85%)
 - ▶ 日本10年: 0.06%⇒-0.01% (-0.07%)

* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、2営業日前の情報を参考として掲載しています。

為替市場の概況

- ▶ 対円の為替相場の変動 (2018/12/10→2019/12/10)*
 - ▶ 先行きへの相対的に明るい見方を背景にドルが堅調。
 - ▶ 金融緩和余地の小さい円が上昇。

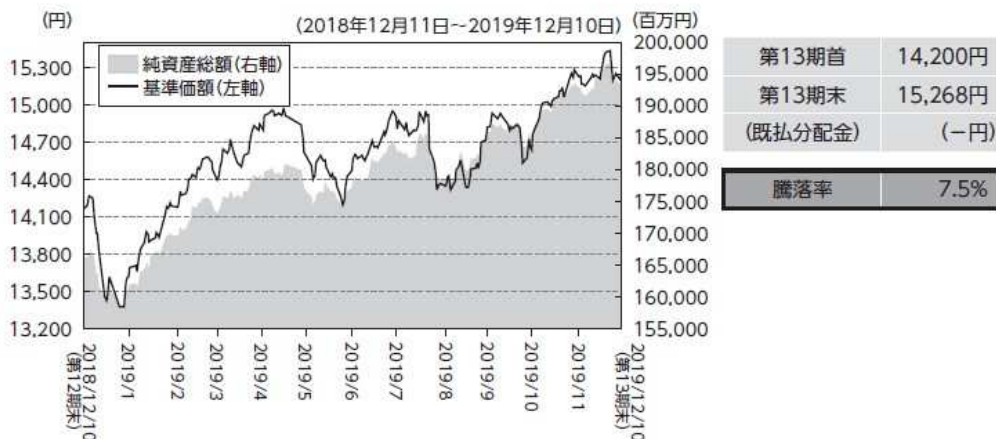


* 当社ファンドの基準価額への反映を考慮して、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用しています。

期中の基準価額の推移【SVG B】

- ▶ 期中の騰落率: +7.5% (14,200円→15,268円)
- ▶ 株式と債券が共に上昇。為替が対ドル、対ユーロで円高となったものの、基準価額は上昇しました。

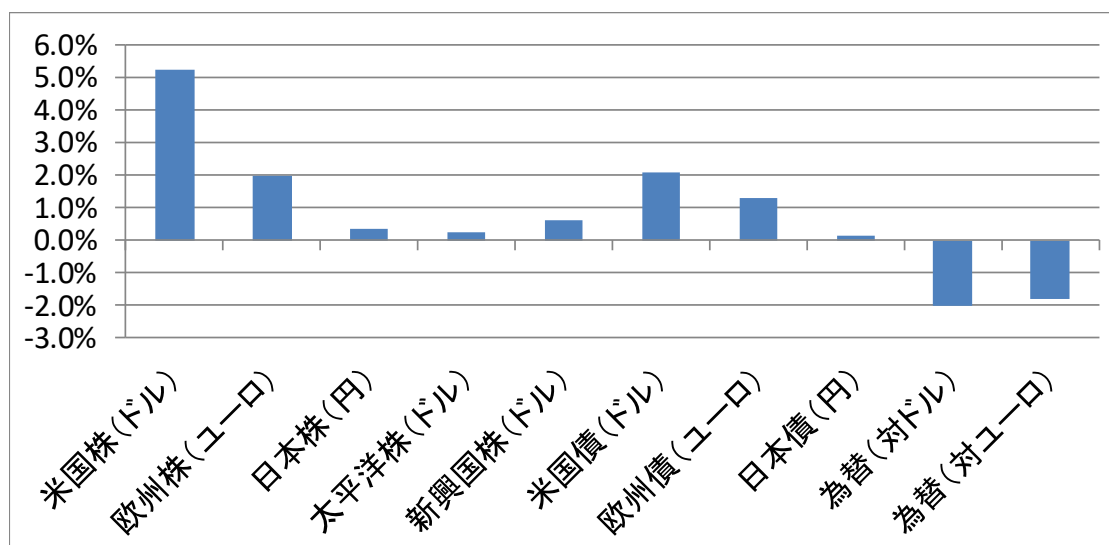
期中の基準価額等の推移



SVG B: セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

基準価額の主な変動要因【SVG B】

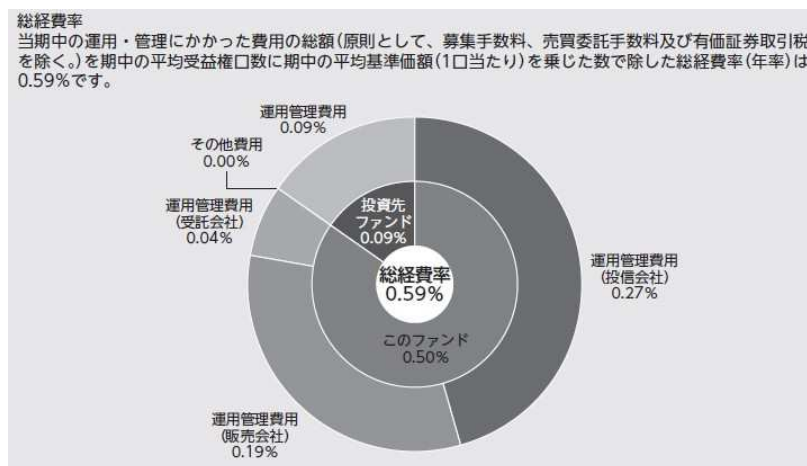
- ▶ 米国株、米国債、欧州株が特にプラスに寄与。
- ▶ 為替は対ドル、対ユーロ共にマイナス寄与。



SVG B: セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

1万口当たりの費用明細【SVGB】

- ▶ 10月の消費税率の引き上げにより、当ファンドの経費率が上昇しました。また、2019年10月23日（当ファンドの評価基準では10月25日）からバンガード社のアイルランド籍ファンドの運用管理費用が引き下げられています。



SVGB:セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

最近5年間の基準価額等の推移①【SVGB】

- ▶ 当期は2期ぶりのプラスでした。

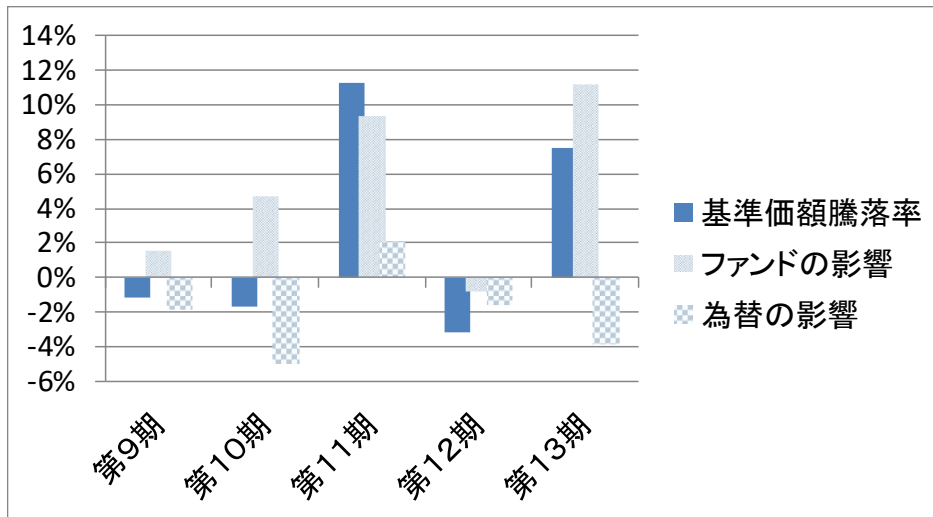
最近5年間の基準価額等の推移



	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日	2018年12月10日 決算日	2019年12月10日 決算日
基準価額	(円) 13,561	13,406	13,181	14,667	14,200	15,268

最近5年間の基準価額等の推移②【SVGB】

- ▶ 投資先ファンドが、2期ぶりのプラス寄与でした。
- ▶ 為替は2期連続のマイナス寄与でした。



SVGB: セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

運用経過と結果①【SVGB】

- ▶ 購入、リバランスの為の売却を行っています。
- ▶ 購入額合計が約243億円、売却額合計が約114億円です。また、ファンドの売買回転率は約20%です。(純流入は約8%)

<参考情報>
 期中の売買及び取引の状況 (2018年12月11日から2019年12月10日)

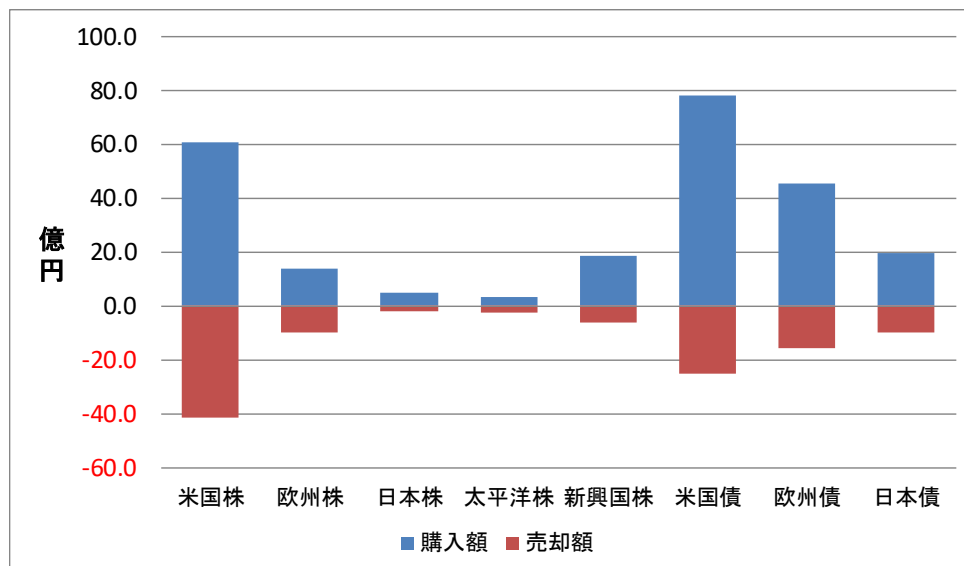
投資証券	買付		売付		
	口数	金額	口数	金額	
アメリカ	千口	千米ドル	千口	千米ドル	
バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド	227	55,500	144	38,100	
外	千口	千円	千口	千円	
	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	37	500,000	14	220,000
	バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	175	1,930,000	92	1,010,000
国	千口	千米ドル	千口	千米ドル	
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	25	3,200	18	2,300
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	152	17,000	49	5,900
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	625	71,200	205	23,200
	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ	
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	83	11,200	57	8,400
	298	36,600	105	12,700	

・金額は受渡し代金です。
 ・千単位未満は切り捨てて表示しております。

SVGB: セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

運用経過と結果②【SVGB】

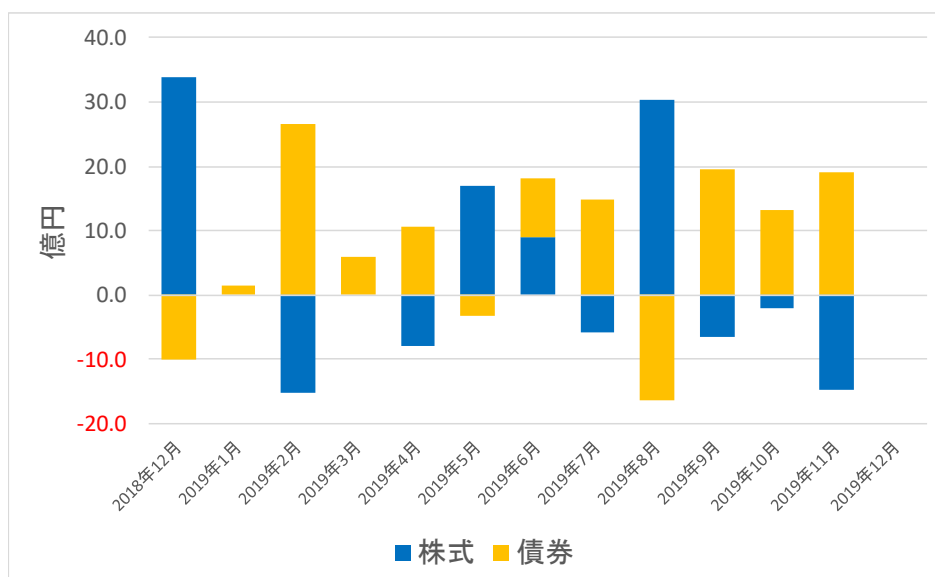
- ▶ 株式ファンドと債券ファンドに投資を行いました。
- ▶ 純投資額は債券ファンドが株式ファンドを大きく上回りました。



SVGB: セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

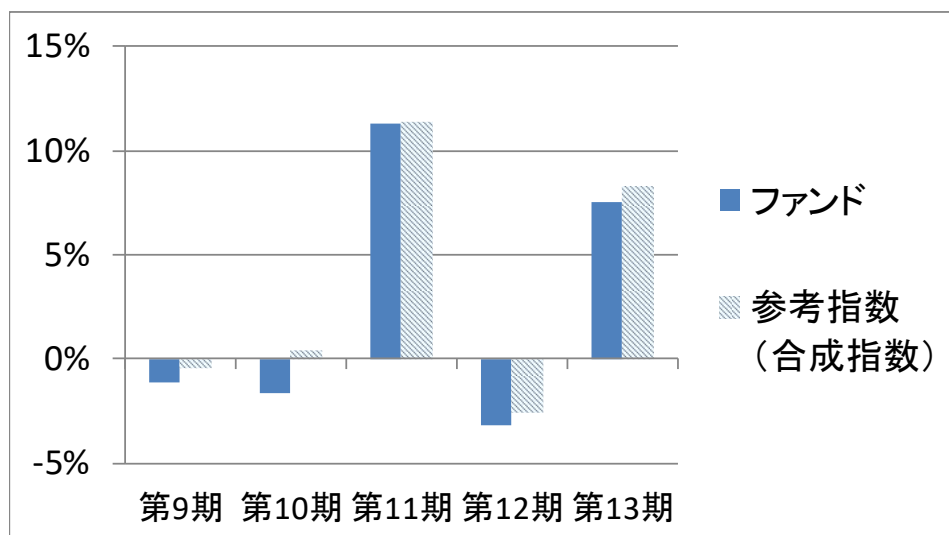
運用経過と結果③【SVGB】

- ▶ 2018年12月、2019年2、4、5、7、8、9、10、11月にファンドの売却を伴うリバランスを実施しました。



参考指数との差異【SVGB】

- ▶ 概ね株式と債券半々の参考指数と同じ動きでした。
- ▶ 参考指数はベンチマークではありません。また、各期末ごとに株式と債券のリバランスを行うものとして算出しています。



SVGB:セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

分配金【SVGB】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位:円、1万円当たり・税引前)

項 目	第13期
	2018年12月11日~2019年12月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,905

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針【SVGB】

- ▶ 定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。
- ▶ 原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

SVGB:セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

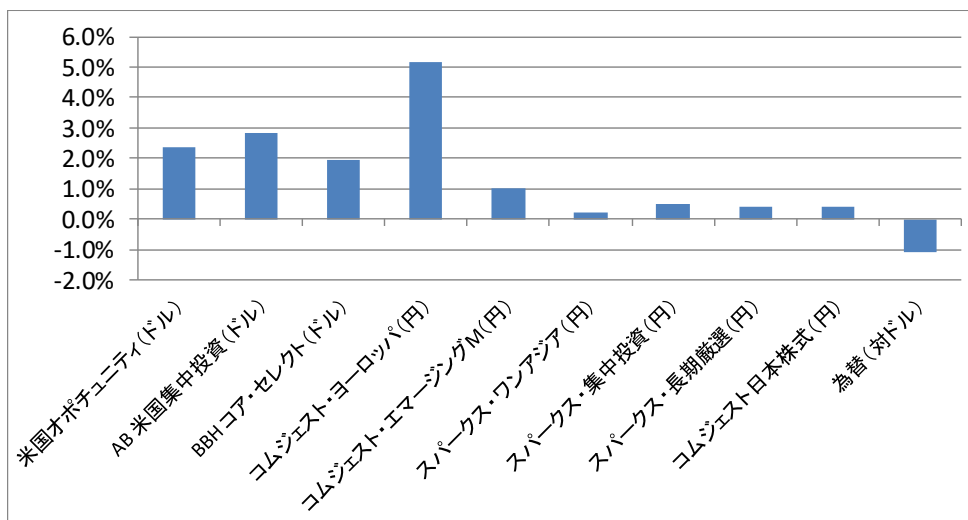
期中の基準価額の推移【達人】

- ▶ 期中の騰落率: +13.1% (20,019円→22,649円)
 - ▶ 株式が上昇し、為替が対ドルで円高となったものの、基準価額は上昇しました。



基準価額の主な変動要因①【達人】

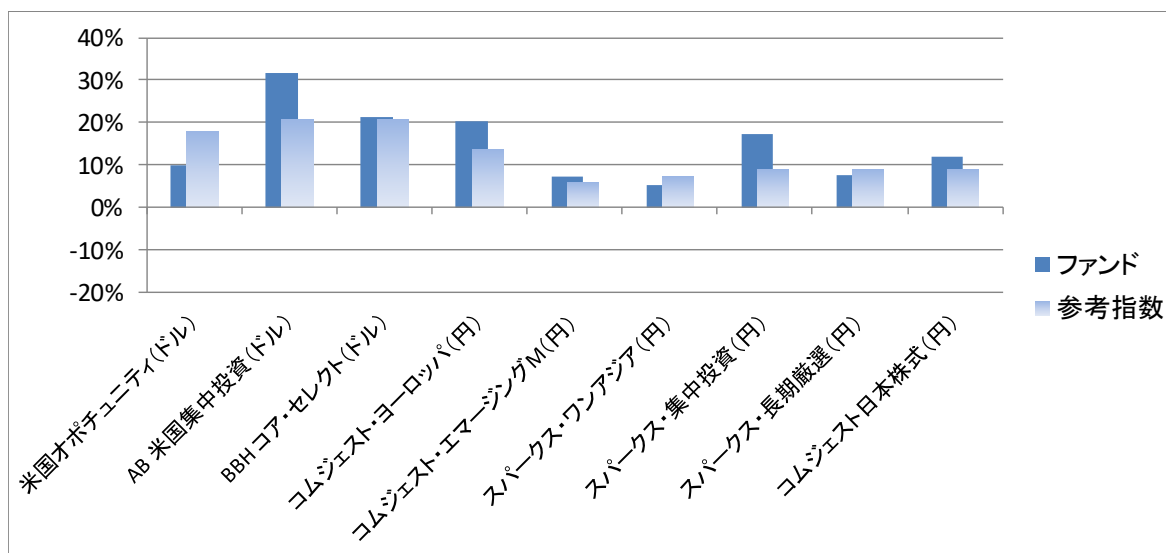
- ▶ 全ての投資先ファンドがプラス要因でした。
- ▶ 特に、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドが貢献しました。
- ▶ 対ドルの為替はマイナス要因でした。



達人：セゾン資産形成の達人ファンド

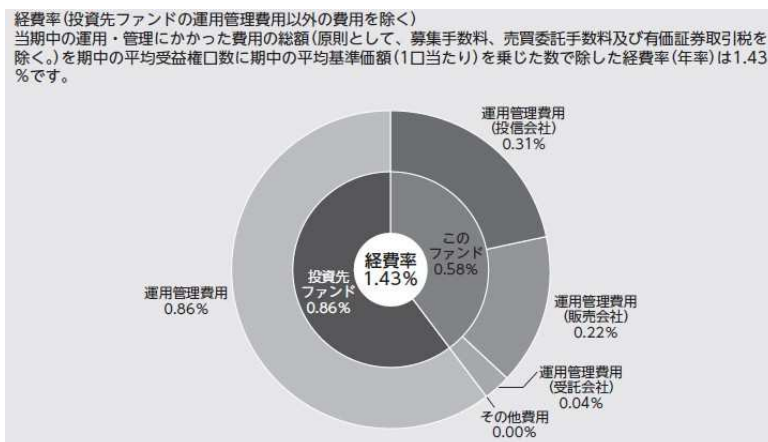
基準価額の主な変動要因②【達人】

- ▶ コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドなどが参考指数を上回りました。米国オポチュニティファンドなどが参考指数を下回りました。



1万口当たりの費用明細【達人】

- ▶ 今期は10月の消費税率の引き上げにより、当ファンドおよび国内籍の投資先ファンドの経費率が上昇しました。



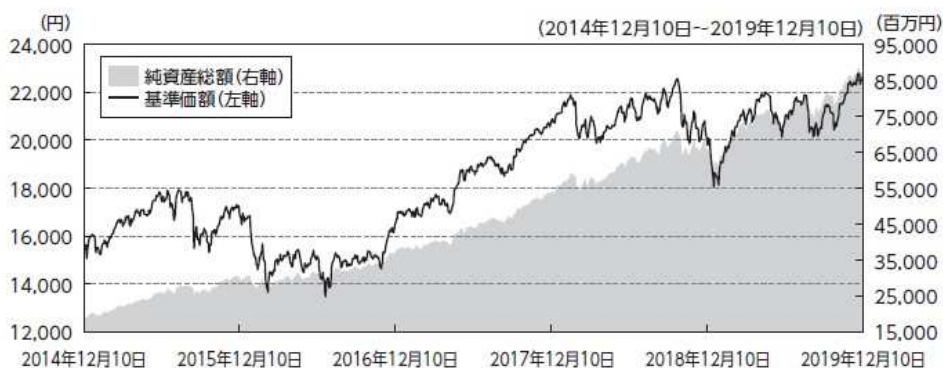
※第12期の途中(2018年9月)にコムジエスト・ヨーロッパ・ファンドとコムジエスト・エマージングマーケット・ファンドをより低い信託報酬率が適用される同じ投資方針のファンドへ移行したため、第13期の経費率は第12期よりも低下しています。

達人:セゾン資産形成の達人ファンド

最近5年間の基準価額等の推移①【達人】

- ▶ 当期は2期ぶりのプラスでした。

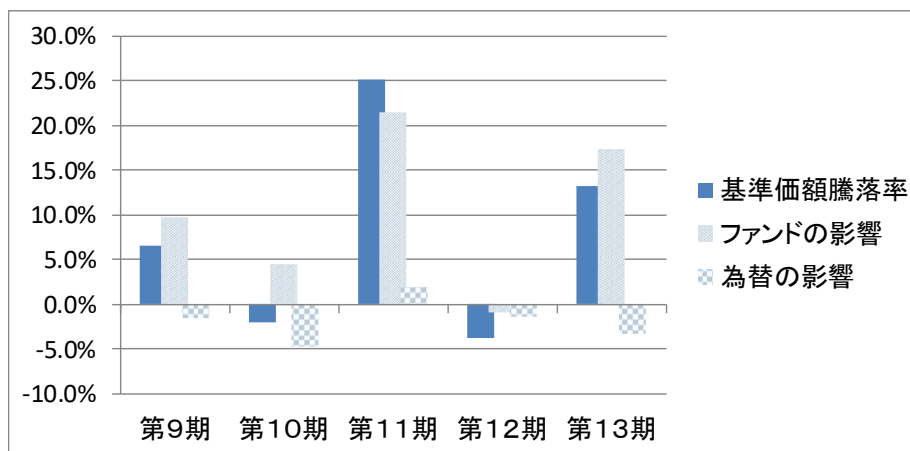
最近5年間の基準価額等の推移



	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日	2017年12月11日 決算日	2018年12月10日 決算日	2019年12月10日 決算日
基準価額	(円) 15,960	16,995	16,637	20,804	20,019	22,649

最近5年間の基準価額等の推移②【達人】

- ▶ 投資先ファンドは、2期ぶりのプラス寄与、為替は2期連続のマイナス寄与でした。



※コムジエスト・ヨーロッパ・ファンドは、ユーロ建て、コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算

達人：セゾン資産形成の達人ファンド

運用経過と結果①【達人】

- ▶ 購入額は約117億円、売却は行っていません。また、ファンドの売買回転率は約15%です。(純流入は約17%)

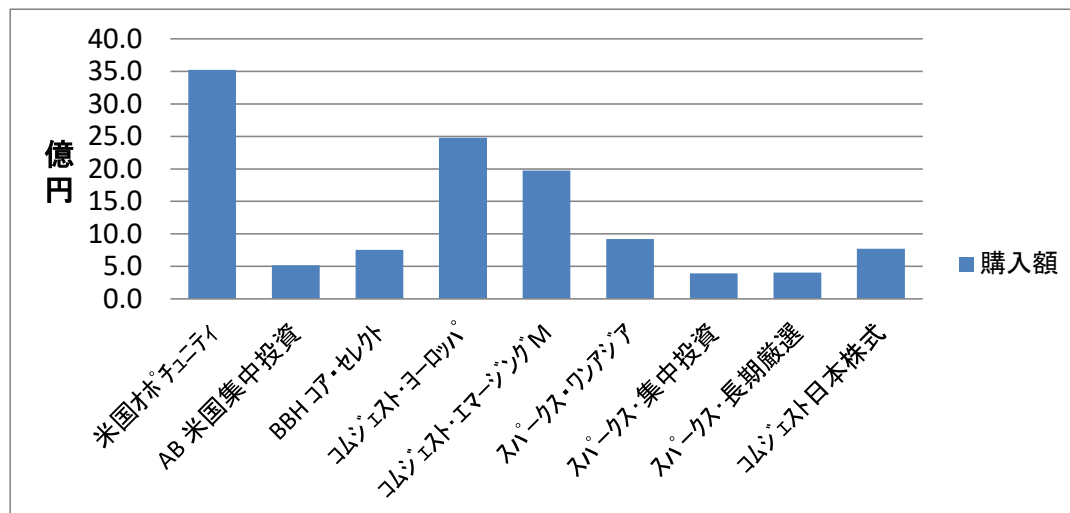
<参考情報>
期中の売買及び取引の状況 (2018年12月11日から2019年12月10日)

投資信託受益証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	2,529,579	2,480,000	-	-
	コムジエスト・エマージングマーケット・ファンド90 (適格機関投資家限定)	2,175,064	1,975,000	-	-
	スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS (適格機関投資家限定)	917,769	920,000	-	-
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	99,136	390,000	-	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	95,643	405,000	-	-
	コムジエスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	555,468	770,000	-	-
投資証券		買付		売付	
外国	バンガード米国オポチュニティファンド	36	32,450	-	-
	アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	180	4,750	-	-
	BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト	219	6,900	-	-

・金額は受渡し代金です。
・千単位未満を切り捨てて表示しております。

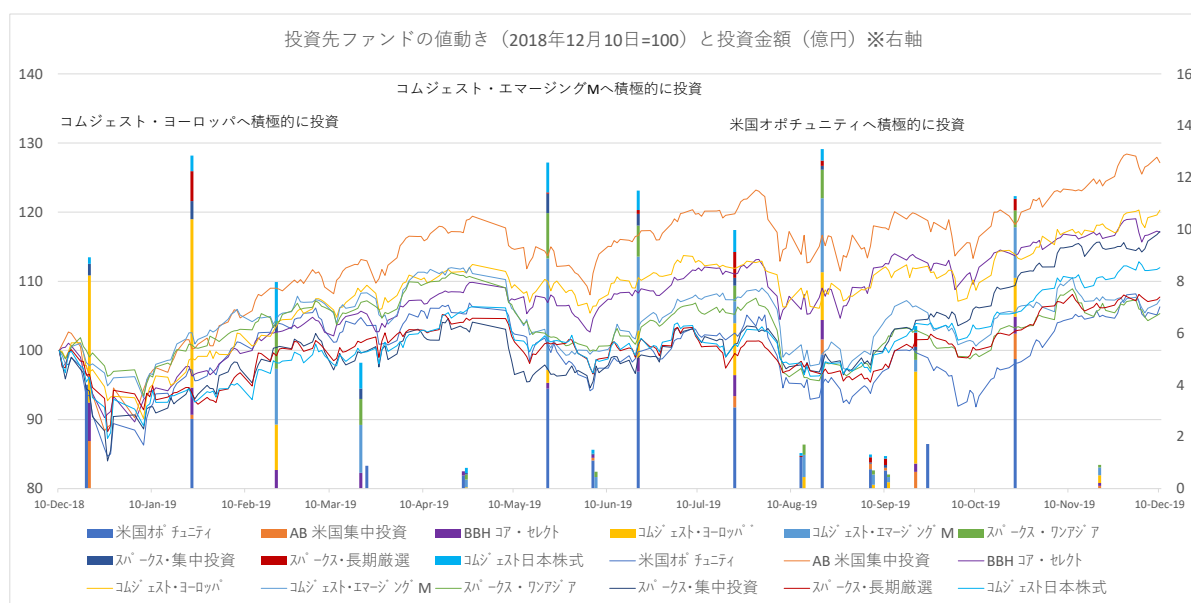
運用経過と結果②【達人】

- ▶ 「米国オポチュニティファンド」などへの投資額が目標比率に対して高め、「AB 米国集中投資ファンド」などへの投資額が目標比率に対して低めでした。



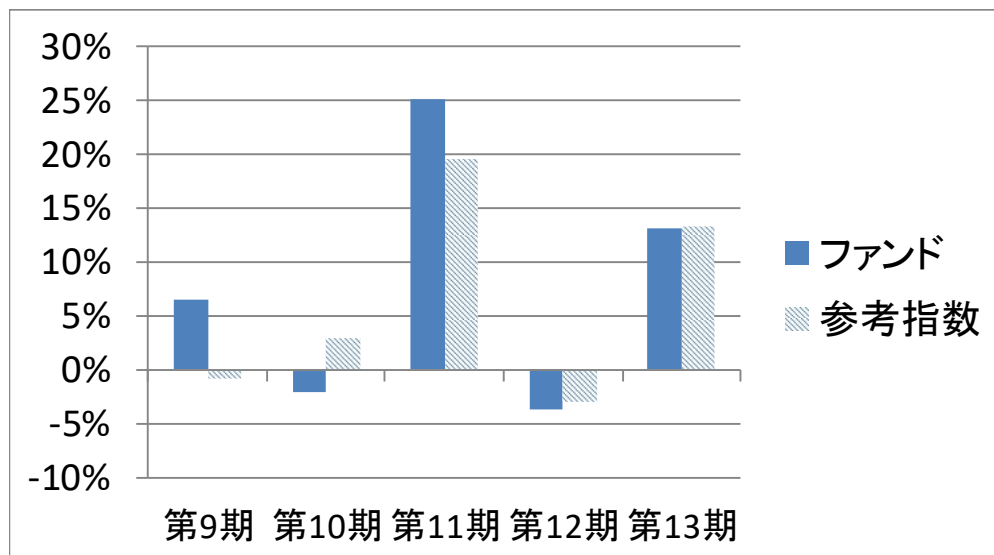
達人: セゾン資産形成の達人ファンド

運用経過と結果③【達人】



参考指数との差異①【達人】

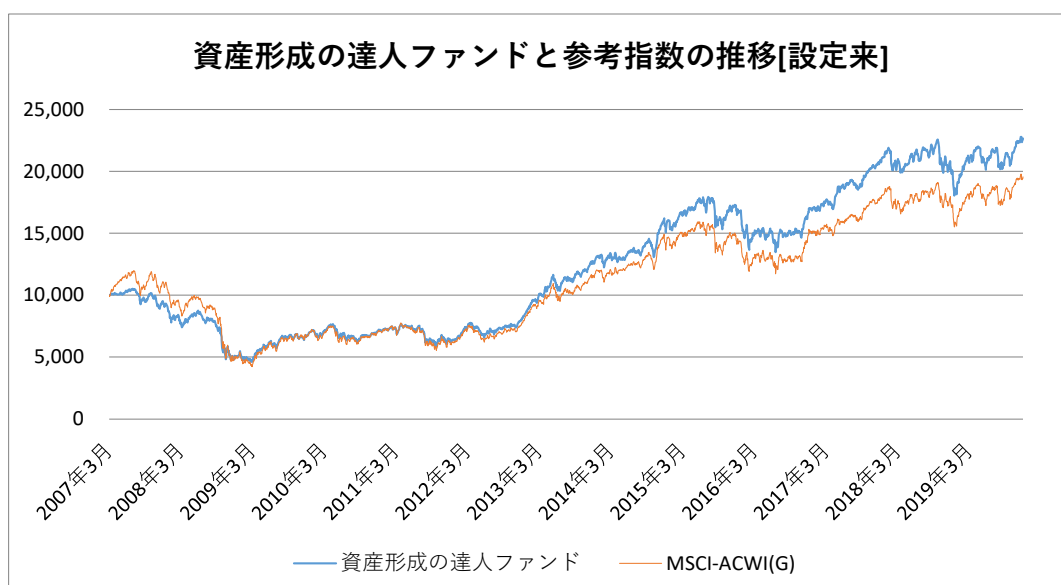
- ▶ 当期は、前期に続いて参考指数であるMSCI オールカン
トリー・ワールド・インデックス(配当込)を下回りました。



達人:セゾン資産形成の達人ファンド

参考指数との差異②【達人】

- ▶ 設定来では、参考指数であるMSCI オールカン
トリー・ワールド・インデックス(配当込)を上回っています。



参考指数との差異③【達人】

- ▶ 当期は、ファンドの寄与がプラス、地域別配分等(当ファンドの信託報酬を含む)の寄与がマイナスでした。

	基準価額	参考指数※	差異	ファンドの寄与	地域別配分の寄与等*
設定来	134.7%	103.5%	31.1%	17.8%	13.3%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.9%	-0.6%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-3.5%	-1.5%
第11期	25.0%	19.5%	5.5%	4.6%	0.9%
第12期	-3.8%	-3.0%	-0.8%	0.7%	-1.5%
第13期	13.1%	13.4%	-0.2%	0.5%	-0.8%

※MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)

*地域別配分比率の寄与等には、当ファンドの信託報酬が含まれています。

また、投資対象地域はセゾン投信(株)の判断に基づいて分類しています。

各数値は、小数第2位を四捨五入しています。

達人:セゾン資産形成の達人ファンド

分配金【達人】

- ▶ 基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきました。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第13期
	2018年12月11日~2019年12月10日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	13,690

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針【達人】

- ▶ 外部環境に関わらず、「価値に対して割安な価格で資産を購入し、価値が価格に反映するまで待つことが、長期的に資産を成長させるための最も優れた方法」との認識のもと、「長期的な視点で投資対象の価値を見極めて割安と考えられる価格で購入するファンド」への投資を通じて、株式への投資比率を高位に保ってまいります。
- ▶ また、地域ごとの投資比率やファンドごとの投資比率は、より多くの投資機会を活用するために幅広く分散投資を行うことを基本とし、構造的な変化に対応した見直しを行いながら、短い期間では市場の関心の移り変わりなどにより人気が高い市場と低い市場が入れ替わっていくとの認識のもと、一定の比率を維持してまいります。

達人：セゾン資産形成の達人ファンド

基準価額、取得価格、取得単価の比較

- ▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
 - ▶ 基準価額の平均：10,816円
 - ▶ 積立による平均取得価格：10,833円(+0.15%)
 - ▶ 積立による平均取得単価：10,109円(-6.54%)
- ▶ セゾン資産形成の達人ファンド
 - ▶ 基準価額の平均：12,434円
 - ▶ 積立による平均取得価格：12,477円(+0.35%)
 - ▶ 積立による平均取得単価：10,126円(-18.55%)
- ▶ 対象期間
 - ▶ 積立：2007年5月～2019年11月(151回)
 - ▶ 基準価額：2007年5月1日～2019年11月30日

平均取得価格：積立約定日の基準価額の平均
平均取得単価：口数あたりの購入単価の平均

※基準価額の平均、平均取得価格、平均取得単価は全て1万口あたりの数値です。

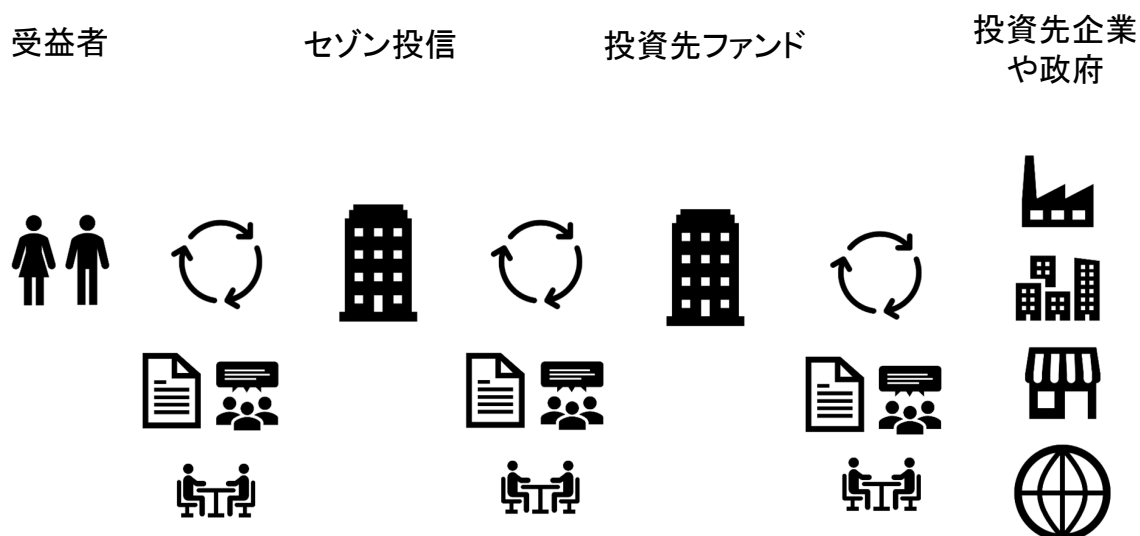
受益者の皆様の運用成果（設定来）

- ▶ セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド
 - ▶ 基準価額上昇率:3.4%/年
 - ▶ 金額加重収益率(インベスターリターン)※:5.6%/年
- ▶ セゾン資産形成の達人ファンド
 - ▶ 基準価額の上昇率:6.6%/年
 - ▶ 金額加重収益率(インベスターリターン)※:9.8%/年

対象期間:2007年3月15日~2019年12月10日

※金額加重収益率(インベスターリターン)は、
設定来の全ての受益者による投資金額の平均収益率です。

望ましい長期投資の連鎖



長期的な視点の共有

投資家から見たセゾンファンド



FCP-ファンドコンサルティングパートナーズ代表
セゾン投信エグゼクティブアドバイザー 房前督明

このテキストのいかなる部分も一切の権利はFCPに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

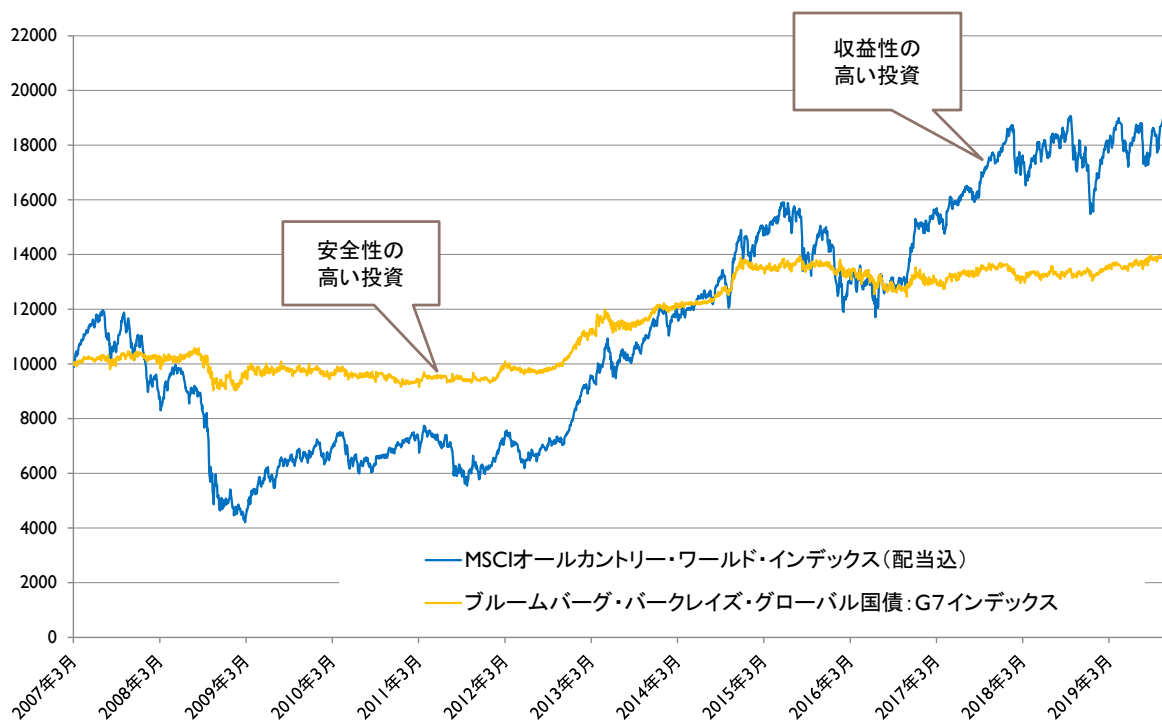
1. セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【運用の目的】

- ・市場の時価総額を基準として、世界の株式と債券に1:1の割合で投資する
- ・価格変動に応じて、定期的にリバランスを行う
- ・為替ヘッジは原則として行わない

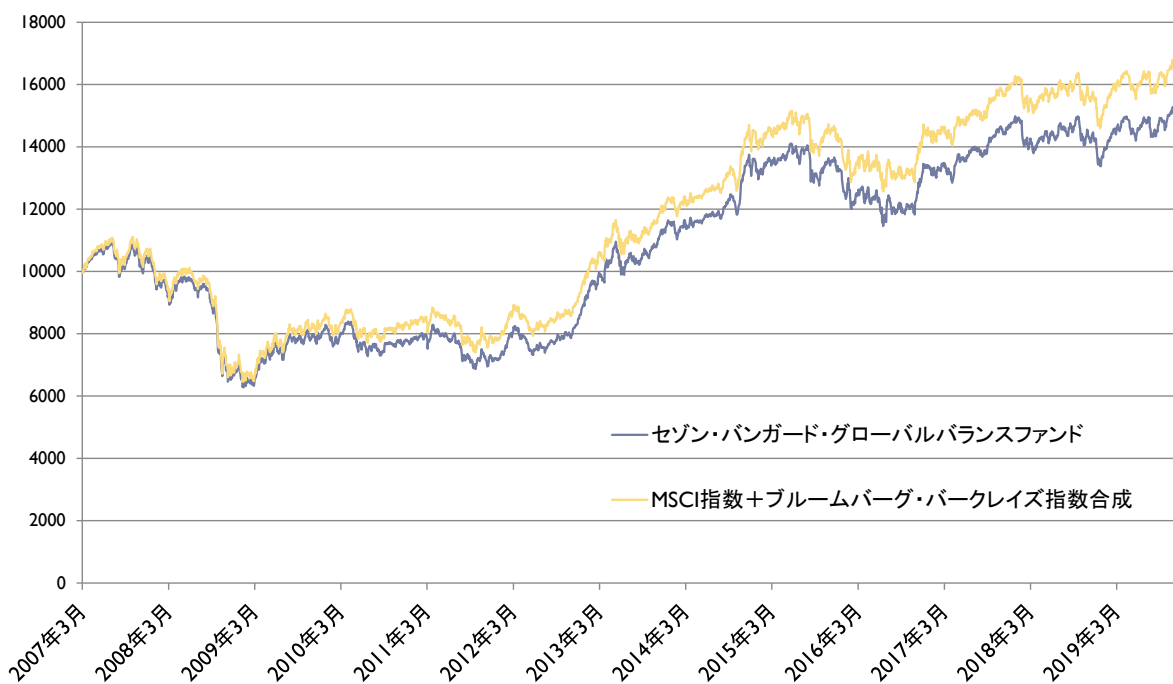
1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【運用のイメージ】



1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【合成指数とファンドの基準価額の比較】



1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

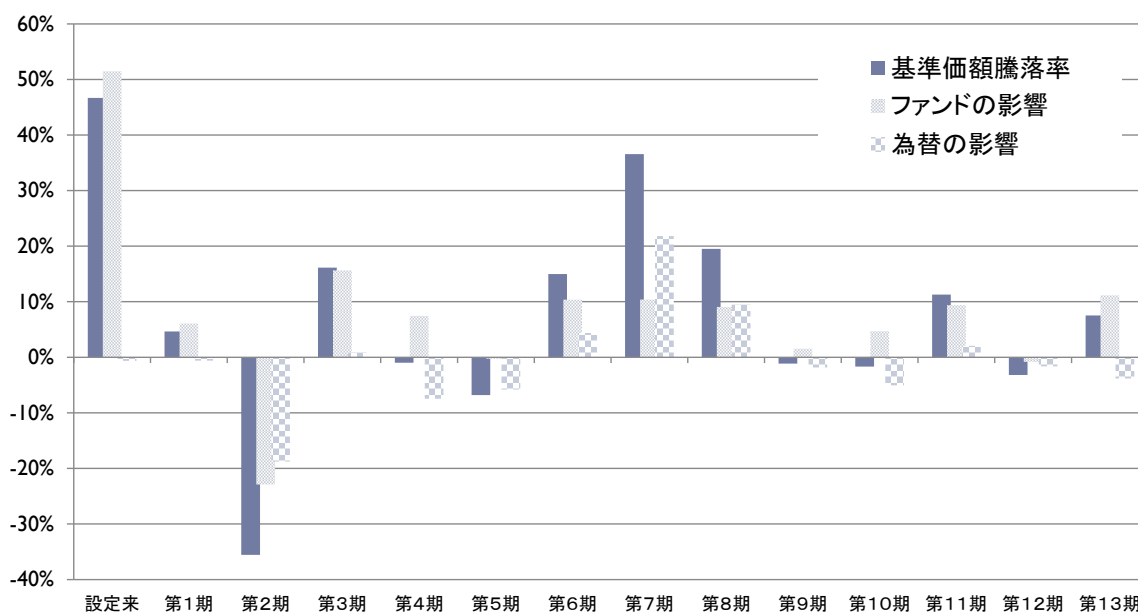
【リスクとリターンの特性】

	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス (配当込)	Bloomberg Barclays グローバル国債 G7インデックス	MSCI指数 +Bloomberg Barclays 指数合成
年換算収益率	3.38%(3.03%)	5.40%(4.74%)	2.57%(2.68%)	4.42%(4.07%)
年換算標準偏差	11.0%(11.3%)	18.9%(19.3%)	12.1%(11.6%)	12.9%(13.6%)

()内は設定来から前期第12期末まで

1.セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

【期別の変動要因(ファンド(株、債券)、為替)】



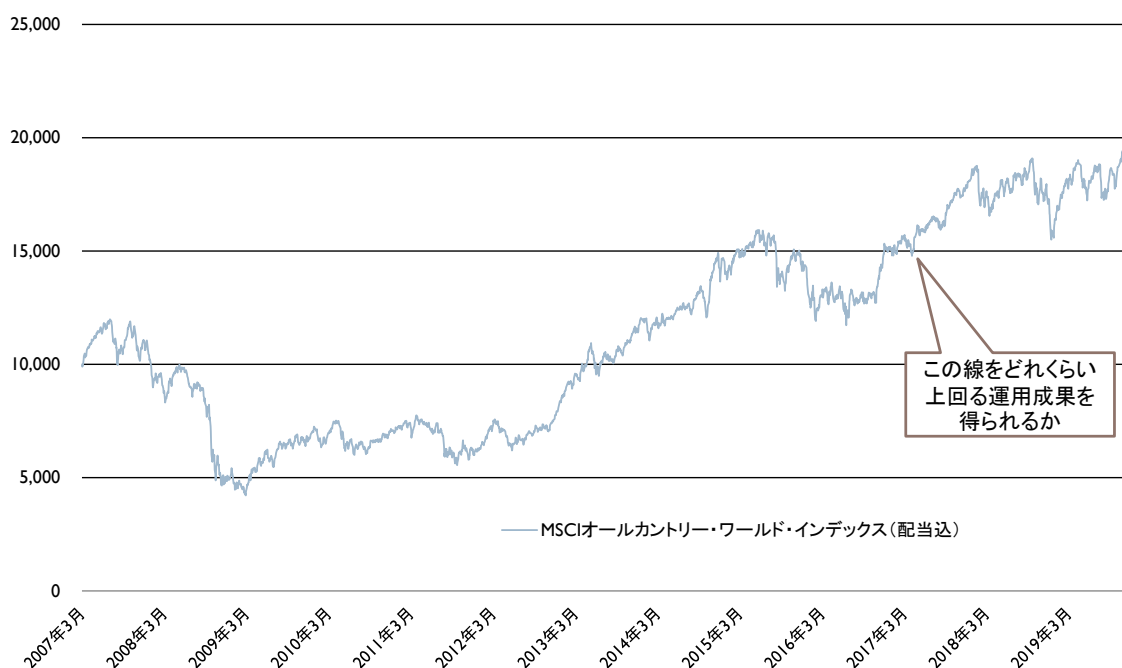
2. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用の目的】

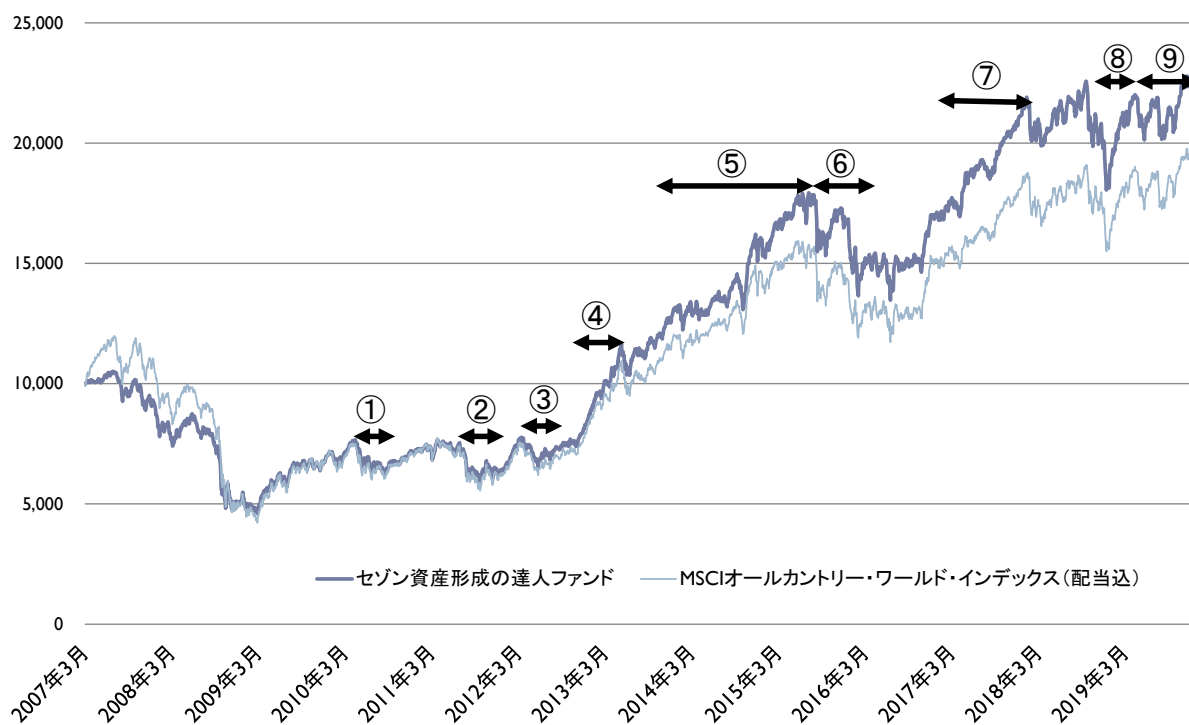
- ・世界におけるグッドカンパニーの株式に割安に投資することにより、市場平均を上回るリターンの獲得を目指すファンドを見つけてそのファンドに投資する
- ・為替ヘッジは原則として行わない

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【運用のイメージ】



2. セゾン資産形成の達人ファンド



2. セゾン資産形成の達人ファンド

【ファンドの選択効果】

	基準価額	参考指数※	差異	ファンドの寄与	地域別配分の寄与等※※
設定来	126.5%	95.5%	30.9%	21.5%	9.5%
第1期	-5.1%	9.9%	-15.0%	0.1%	-15.1%
第2期	-47.2%	-54.3%	7.1%	-1.9%	9.0%
第3期	32.3%	31.0%	1.3%	4.0%	-2.7%
第4期	7.3%	6.3%	1.0%	1.7%	-0.6%
第5期	-10.0%	-11.5%	1.5%	1.4%	0.1%
第6期	24.2%	22.2%	2.0%	5.3%	-3.3%
第7期	60.2%	53.1%	7.1%	4.3%	2.8%
第8期	25.2%	25.6%	-0.4%	1.4%	-1.8%
第9期	6.5%	-0.8%	7.3%	7.9%	-0.6%
第10期	-2.1%	3.0%	-5.1%	-3.5%	-1.5%
第11期	25.0%	19.5%	5.5%	4.6%	0.9%
第12期	-3.8%	-3.0%	-0.8%	0.7%	-1.5%
第13期	13.1%	13.4%	-0.2%	0.5%	-0.8%

※MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)

※※地域別配分比率の寄与等には当社の信託報酬が含まれています。また投資対象地域はセゾン投信(株)の判断に基づいて分類しています。

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
バンガード・米国オポチュニティファンド ラッセル3000種指数	11.3% 7.4%	23.5% 21.8%
AB・米国集中投資株式ファンド S&P500指数	10.7% 8.1%	19.4% 18.3%
BBHコア・セレクト・ファンド S&P500指数	8.6% 10.0%	15.2% 17.1%
コムジェスト・ヨーロッパファンド MSCIヨーロッパ指数	8.2% 3.0%	21.0% 26.1%
コムジェスト・エマージングマーケットファンド MSCIエマージング指数	4.5% 2.8%	22.6% 24.1%

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンス(続き)】

ファンド名 参考指数	年率換算複利リターン (円建て)	年率換算標準偏差 (円建て)
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド MSCIアジア太平洋指数	0.6% 2.4%	14.9% 17.2%
スパークス・集中投資・日本株ファンド TOPIX	17.1% 8.8%	19.9% 19.1%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド TOPIX	20.6% 13.2%	17.5% 18.8%
コムジェスト日本株式ファンド TOPIX	12.7% 9.1%	16.5% 16.0%

2. セゾン資産形成の達人ファンド

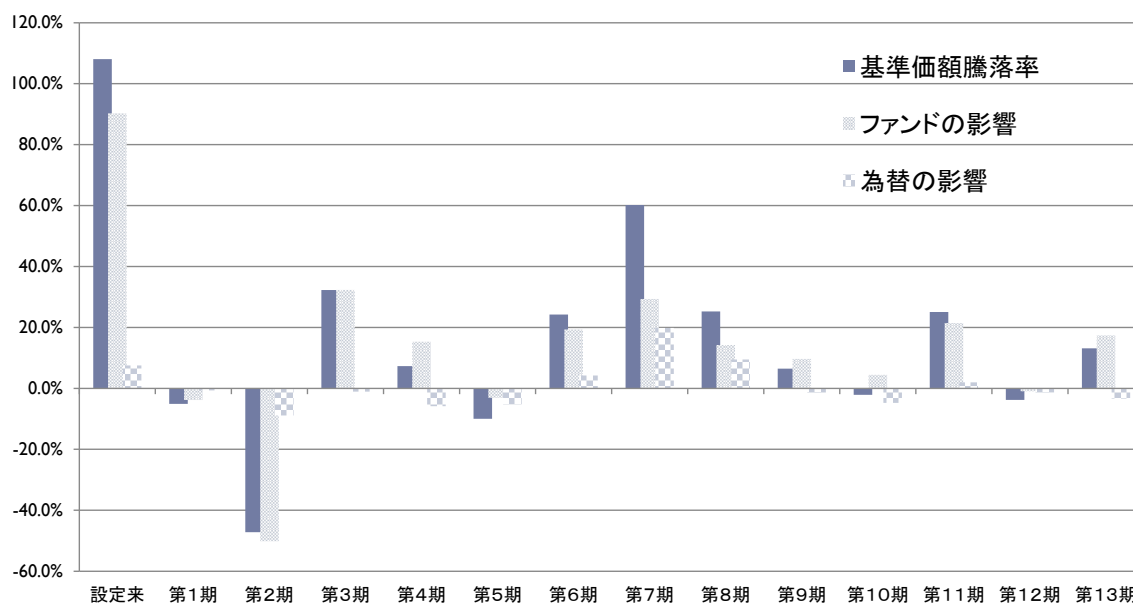
【組入ファンドの組入れ来のパフォーマンスに関する注記事項】

各ファンドの組入れ開始日(当ファンドの評価日基準)は、
 バンガード 米国オポチュニティファンドは2007年8月15日
 コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドは2008年3月12日
 コムジェスト・エマージングマーケット・ファンドは2008年3月31日
 スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は2010年3月19日
 スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は2011年9月13日
 アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(クラスI)は2015年3月23日
 スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は2015年3月24日
 コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)は2016年3月14日
 BBHコア・セレクト・ファンドは2017年3月14日 です。

データは、Bloombergから取得しています。

2. セゾン資産形成の達人ファンド

【期別の変動要因(ファンド、為替)】



※コムジェスト・ヨーロッパ・ファンドはユーロ建て、コムジェスト・エマージング・マーケットファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドは米ドル建てで計算しています。

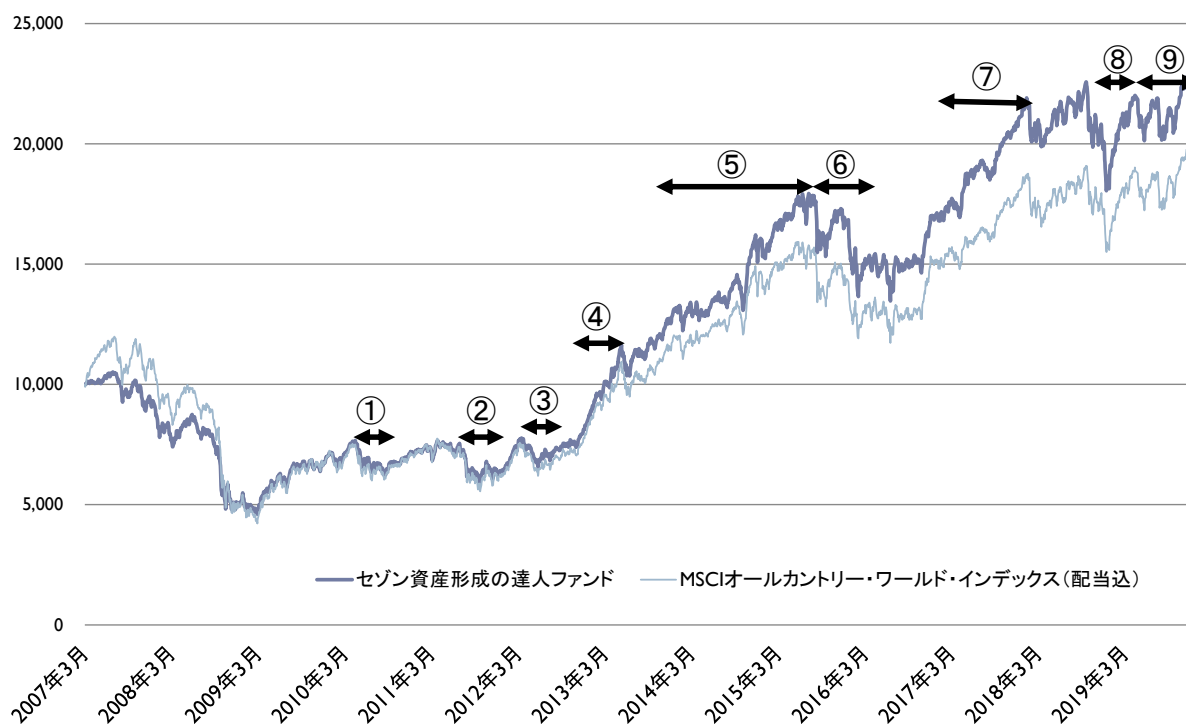
2. セゾン資産形成の達人ファンド

【リターンとリスクの特性】

	セゾン資産形成の 達人ファンド	MSCIオールカントリー・ ワールド・インデックス (配当込)
年換算収益率	6.6%(6.1%)	5.4%(4.7%)
年換算標準偏差	15.7%(15.9%)	18.9%(19.3%)

()内は設定来から前期第12期末まで

2. セゾン資産形成の達人ファンド（再掲）



2. セゾン資産形成の達人ファンド

	<下げ局面>	基準価額	MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)	差異
①	2010/04/27	7,669	7,493	
	2010/09/01	6,222	6,077	
	騰落率	-18.86%	-18.90%	+0.04%
②	2011/04/08	7,654	7,739	
	2011/10/05	5,869	5,560	
	騰落率	-23.32%	-28.16%	+4.84%
③	2012/03/28	7,768	7,475	
	2012/07/26	6,830	6,440	
	騰落率	-12.07%	-13.85%	+1.78%
⑥	2015/08/12	17,842	15,694	
	2016/02/15	13,653	11,911	
	騰落率	-23.48%	-24.10%	+0.62%
⑧	2018/11/09	21,215	18,205	
	2018/12/27	18,147	15,504	
	騰落率	-14.46%	-14.84%	+0.38%

2. セゾン資産形成の達人ファンド

	<上げ局面>	基準価額	MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)	差異
④	2012/11/12	7,393	7,043	
	2013/05/23	11,639	10,928	
	騰落率	+57.43%	+55.16%	+2.27%
⑤	2013/06/14	10,358	9,537	
	2014/12/10	15,960	14,550	
	騰落率	+54.08%	+52.56%	+1.56%
⑦	2017/8/22	18,497	15,935	
	2017/12/11	20,804	17,782	
	騰落率	+12.47%	+11.59%	+0.88%
⑨	2018/12/27	18,147	15,504	
	2019/12/10	22,649	19,554	
	騰落率	+24.81%	+26.12%	-1.31%

※設定日を10,000として換算した値

運用報告会でよく使われる用語集

・アップサイド/ダウンサイド・キャプチャー・レシオ

上昇相場と下落相場のそれぞれで投資信託がベンチマークをどの程度上回ったか下回ったかを表す指標。

・インベスターリターン（金額加重収益率）

実際の投資行動の結果、投資家が得た平均的な収益率。

・基準価額騰落率

ファンドの基準価額の変化率を年率換算したもの。投資家が一定期間そのファンドを保有し続けたと仮定した場合の収益率。

・騰落率

基準価額の変動と支払われた分配金を組み合わせて算出し、投資信託のリターンを測るための数値のこと。

・標準偏差

どれだけばらつきがあるのかを示す値のこと。投資信託においてはリスクの度合いを測ることが多い。

・ベンチマーク

投資信託を運用する際に目標とする基準、あるいはパフォーマンスを評価する基準のこと。

・リバランス

ポートフォリオ運用を行う際に、相場の変動などにより変化した投資配分の比率を調整すること。

・シャープレシオ

1リスク単位に対するリターンを算出し、リスクに対しどれだけのリターンを得たのかを示す、リスク調整後リターンの代表的な指標。

長期投資シミュレーション ～セゾン号の道しるべ～

積立シミュレーション

積立は資産運用の第一歩。始めようと思った時が始め時です。必要ないと思う方も、少し興味がある方も、トコトン積立について考えましょう。

- ・ 将来の積立資産額
- ・ 毎月の積立額
- ・ 目標までの積立期間

取り崩しシミュレーション

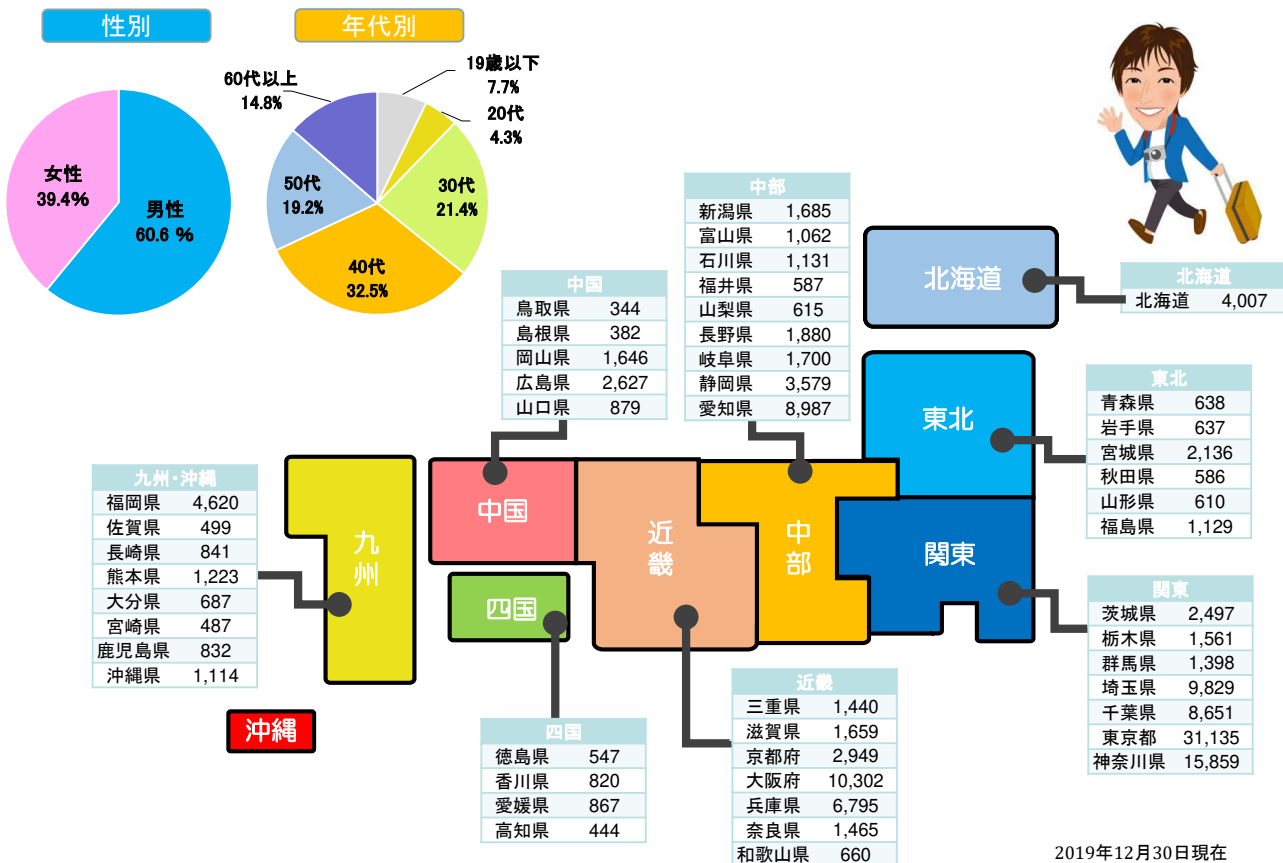
資産の取り崩しはまだまだ先という方も、もうすぐだという方も、取り崩しながら運用を続けるということについてじっくり考えてみましょう。

- ・ 資産の寿命
- ・ 毎月取り崩せる額
- ・ 取り崩しにいくら必要



シミュレーションはこちらから！ 31

お客さまの特徴&都道府県別マップ



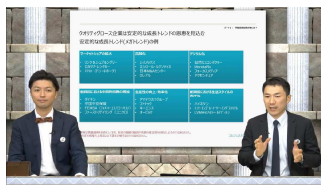
セゾン投信がお届けする動画&ラジオ風番組

◆ オンラインセミナー 動画

※商品説明は「ファンド紹介」ページをご覧ください。



「バンガードの投資哲学を学ぼう！」
出演：福田 隆、三上 和久氏

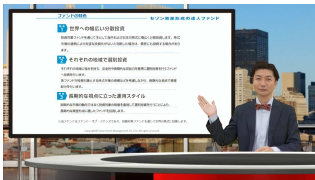


「コムジストと学ぶ、長期投資とアクティブ投資の魅力」
出演：福田 隆、渡邊 敬氏



「積立王子と一緒に学ぼう！長期投資の心構え」
出演：福田 隆、中野 晴啓

◆ 商品説明 動画



「セゾン資産形成の達人ファンド」
出演：福田 隆

運用会社とのコラボ動画をはじめ、様々なコンテンツ動画を随時ご用意させていただいておりますので、ぜひご視聴を！！

動画はこちらから！



セゾン投信社長 中野晴啓が、毎回魅力あるゲストと対談するラジオ風番組。

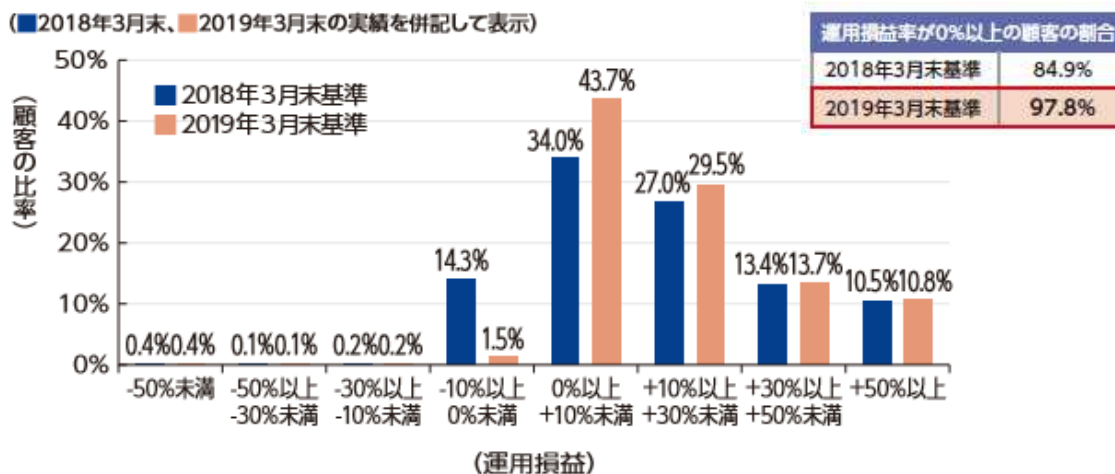
毎月2回にわたって対談の様様を音声コンテンツとしてお届けします！
『長期投資×？』の化学反応により何が生まれるのか？ご期待ください。

ラジオ風番組はこちらから！
(Podcast)



セゾン投信の運用損益別顧客比率

- 金融庁が公表した「共通KPI」の1つである運用損益別顧客比率※に係る当社実績では、2019年3月末時点でお客さまのうち97.8%の方がプラスとなっています。

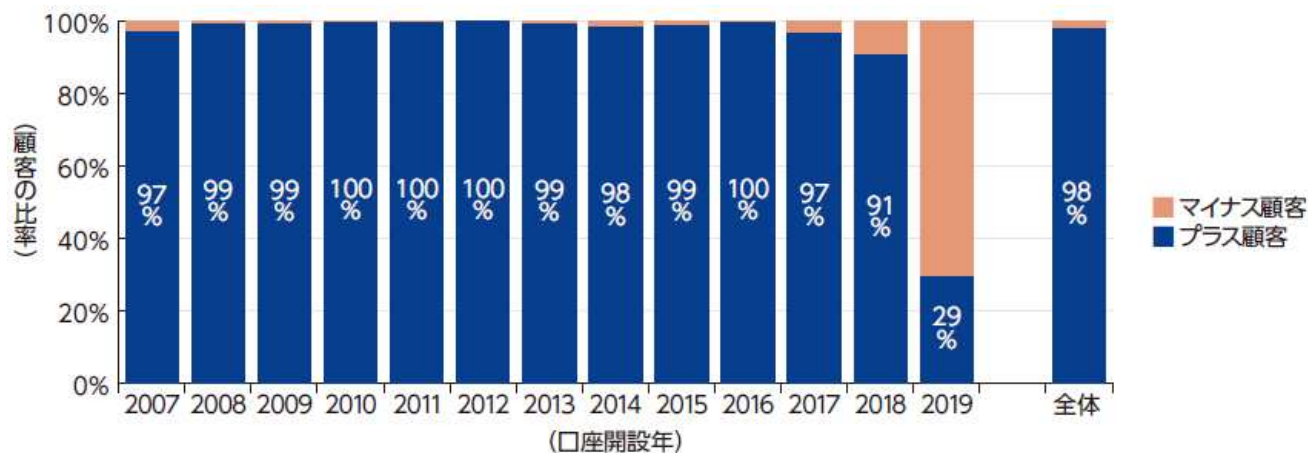


※運用損益別顧客比率：投資信託を保有している顧客について、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し運用損益別に顧客比率を示した指標。

累計買付金額、累計売付金額は2007年3月15日の設定日から2019年3月末までの通常の取引データを基に集計（移管等を含まず）、相続等により購入データの存在しない顧客は集計対象外。
小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

口座開設年別損益状況分布

- 2018年以前に口座開設されたお客さまの9割超がプラスとなっています。



(注)2019年3月末、法人顧客を含む、数字はプラス顧客の比率、2019年は1月～3月の方が対象。
(出所)セゾン投信「セゾン投信のフィデューシャリー宣言取り組み状況報告(臨時報告)」(2019年)

ご留意事項

一般的なご留意事項

当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

投資信託に関するリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当資料で使用しているデータ等について

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

ご留意事項

投資信託に関する費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用：

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.506%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.61%±0.02%（税込/概算）となります。

セゾン資産形成の達人ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.583%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

※ファンドの規模に応じて変動する場合があります。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

ご留意事項

- ・MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。「MSCI オールカンントリー・ワールド・インデックス」は先進国23カ国と新興国26カ国の計49カ国で構成されており、世界の株式市場の値動きを表す指数です。
- ・ブルームバーグ®（BLOOMBERG®）はブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）の商標およびサービスマークです。パークレイズ®（BARCLAYS®）は、ライセンスの下で使用されている、パークレイズ・バンク・ピーエルシー（その関係会社と総称して「パークレイズ」といいます。）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグへのライセンス付与者（パークレイズを含みます。）は、ブルームバーグ・パークレイズ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグおよびパークレイズのいずれも、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグおよびパークレイズのいずれもこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。
- ・S&P500指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJIに帰属します。
- ・S&P DJIは当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJIは当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJIは当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJIはファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失（収入の損失、利益の損失、機会費用を含む）について一切の責任を負いません。特に断りが無い限り、参考指数は当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しています。

ご留意事項

R&Iファンド大賞について

「R & I 大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

リップラー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019 ジャパンについて

「リップラー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019 ジャパン」の評価の基となる Lipper Leader Rating（リップラー・リーダー・レーティング）システムのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。Lipper Leader Rating システムが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、Lipper が信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

商号：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

いそがないで歩こう。

